

研究名：秘密分散・秘密計算技術を使った DPC データのベンチマーク分析ツールの開発とその評価

1．研究の目的

国立成育医療研究センター（代表責任者：五十嵐隆理事長）では、「小児・周産期病院における AI ホスピタル機能の実装に基づく実証研究」を行っています。この研究では、研究に参加している病院の小児科を受診された患者さんの DPC データを収集し、セキュリティの高い新しい技術である秘密分散・秘密計算技術を用いて、DPC データを扱い、小児・周産期医療に特化した DPC データの分析ツールの開発を行います。DPC データとは、患者さんの医療費を計算するために、病名や診療内容のデータや、その組合せにより分類した DPC コード（病気の識別番号）などが含まれます。

この研究により、全国の小児・周産期病院でどのような治療が行われているかを、分類ごとに多施設間で比較することができるようになり、それぞれの病院の特徴を把握するツールシステムが機能するかを評価します。

2．研究の方法

研究対象：本研究に参加されている医療機関の小児科を受診された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日迄

研究方法：本研究に参加している医療機関の小児科をこれまでに受診された方の DPC データを収集します。DPC データには個人を特定する情報(氏名、住所)は含まれませんが、患者さんの電子カルテ ID を含みますので、電子カルテ ID は削除して研究用 ID への置き換えを行い、だれの記録が分からないようにした上で、医療機関から NTT コミュニケーションズ株式会社が保有するデータセンターに、パスワードをかけて提供します。NTT コミュニケーションズ株式会社は成育医療研究センターとともに、株式会社情報通信総合研究所、株式会社 NTT データ経営研究所と共同で、DPC データの分析ツールの開発を行います。また、参加医療機関では、病院経営等に係る指標を分析・評価します。電子カルテ ID がどの患者さんのものかを結び付ける対応表は各医療機関で保管・管理します。

3．研究に用いる情報の種類

電子カルテ ID は削除し、だれの記録が分からないようにした DPC データ

患者さんの氏名、住所など、本人を特定出来る一切の個人情報調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4 . 成果の公表

本研究の成果は、「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」研究開発プロジェクトに関連する会議、報告会や学術集会で発表される可能性があります。その場合でもDPCデータをご提供いただいた患者さんの氏名や住所などの個人情報公表されることはありません。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター、茨城県立こども病院、大阪母子医療センター、埼玉県立小児医療センター、千葉県こども病院、長野県立こども病院、宮城県立こども病院、沖縄県立南部医療センター、京都府立医科大学、神奈川県立こども医療センター、東京大学医学部附属病院、兵庫県立こども病院、獨協医科大学病院、岐阜県総合医療センター
株式会社情報通信総合研究所
NTT コミュニケーションズ株式会社
株式会社 NTT データ経営研究所

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象から除外しますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

- （参加医療機関名）
- （担当者所属部署名・氏名）
- （住所）
- （連絡先電話番号）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 診療情報管理室長 美間 由紀